

事業所名

おじやん縁が丘

支援プログラム

作成日

2025年

2月

7日

法人（事業所）理念		<p>すべての人が 自分らしく活躍できる社会の 実現を目指して</p> <p>人を愛し 家族を愛し 地域を愛し 勇気を持って挑戦する心</p>					
支援方針		<p>自立に向けて、生きる力を養うために。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生を豊かなものにするために、余暇支援活動を通して、 好きな事、得意な事を活かしながら自ら選択し、活動する力を養う。 ・お子様一人ひとりの特性を理解し、お子様一人ひとりに最適な環境の実現を通して、 お子様のペースに合わせた個別療育の実現を目指す。 ・お子様の日々の変化を敏感に感じ取り、お子様の自己理解や成長を通して、 自ら社会と関わる力を養う。 ・保護者やご家族と思いを共有し、共にお子様の成長をサポートしていく。 <p>◎本人中心支援（自分で選択する。自身のやりたいことを達成できる。） ◎統一した支援（支援員が皆統一した支援に取り組める。児童の特性を理解する。） ◎児童が安心して通える施設を目指す。安全に過ごすことができるよう環境を設定する。</p>					
営業時間		平日	10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
		土曜日 長期休暇中	9時	0分から	18時	0分まで	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングを通じ調理の技術を身につけたり、興味関心の幅を広げる。自助具を使用し日常生活の困難さを補い支援する。 ・視覚支援、タイマーなどを用いて見通しを立てたり自分でスケジュールの管理を行う力を養う。（構造化） ・買い物や外出などの機会を設け自立に向けた活動を提供する。 ・好きなことややりたいことを実現できる機会を作る。（自己実現の達成に向けての支援） 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・エビデンスのある評価に基づく特性の理解。 ・室内でもブランコやトランポリンなどを使用できる環境のため天候に左右されることなく常時感覚刺激を取り入れた遊びに取り組めます。 ・感覚過多や特性のある児童への配慮。（イヤーマフや環境設定） ・公園遊びで走る、登るなど全身運動への取り組み。（ボディイメージの獲得など） 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・NCスケールを用いたエビデンスのある評価に基づく特性の理解。 ・インリアルアプローチなどの視点で児童の行動を観察し支援員側の関わりから児童の行動を変化させていく。 ・ABAの観点を用いて良い行動を強化する支援。（支援員の統一した支援） ・視覚支援やSSIなどを用いて状況の理解や概念の理解に取り組む。 ・認知機能の偏りからくるしんどさへの支援。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード交換を通したコミュニケーション支援。 ・インリアルアプローチを用い言語表出や理解を促していく。 ・絵カードを使用し意思の表出を促す。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンとなる支援員を担当につけ安心基地や安全基地を築き上げていく愛着支援。 ・視覚的な提示や論理的な説明を行いルールの理解に繋げていく。 ・発達段階に合わせた遊びの提供。（一人遊びから協同遊びへの発展） ・小集団活動や個別対応の中で自己理解や他者理解を促していく支援 					
家族支援		日々の送迎時に児童の状況の共有、悩み事や相談事のヒアリング。 モニタリング時の面談、ご家族が参加できるイベントの実施			移行支援	学校や相談支援事業所、家庭と連携できる体制の整備。 保護者からの進学相談や、自力通学練習への対応。	
地域支援・地域連携		地域の行事に参加、同地域の施設間交流等、自立支援協議会への参加。 法人の実施する発達障害への理解を深める研修会の実施			職員の質の向上	研修制度の整備（職場内教育（OJT）、職場内研修・公開研修、社外研修（業務命令として受講するもの）、社外研修（自分が自己研鑽の一環として受講するもの））を整理して制度を明確化。 本人の求めや業務に応じて受講する。	